

# エリアとくらし

第10号 2011年3月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

: 095 - 882 - 7585

http://www.togitsu-ikuseikai.jp

ドキドキ  
がんばりました！

## 交流芸能祭

2月27日・とぎつカナリーホール

今年は、去年よりも少し凝って保護者会へお願いし、鉢巻きを作ってもらいました。

演目は「長崎ぶらぶら節」「てっぱん体操」。ぶらぶら節は保護者から教わり、みんな懸命に覚えました。てっぱん体操は、NHKの朝の連続テレビ小説の体操です。

家でも練習出来るためか、日に日に上達していく様を目の当たりにし、驚きと熱意を感じました。

当日、みんな緊張が隠せません。(中には、緊張していないような方もいましたが...)

いざ本番！日頃の練習の成果を十分に発揮し、大きな拍手を頂くこととなりました。みんなの笑顔も良かったです。(岸)



新企画に  
チャレンジ

## 新 クリスマス会

2月18日



### 利用者サンタからプレゼント

キャロット劇団の人形劇を見て、保護者からの苺のケーキを美味しくいただきました。利用者が扮装したサンタクロースから、手作りの靴下型の袋に入ったプレゼントをもらって小学生は大喜び。満腹 + 満足な新しいクリスマス会は大成功しました。(辻)

利用者主体の地域交流活動として、学童保育の小学生を22名招待、司会や会の実施は利用者が、支援員はそのサポートをしました。

小学生と利用者でペアになったけん玉ゲームでは、お姉さんお兄さん気分小学生と交流しました。昼食のバイキングでは食べきれないほどの料理が並び満腹に。

### お腹一杯 バイキング (\*^o^\*)



時津町海と緑の運動公園で開催された、町民ロードレース大会のミニ駅伝に出場しました。

昨年とメンバーが入れ替わり、エリア21の周りを走りこみ、練習を行いました。

今回は初めての女性選手・岩田さんが参加、加藤さん谷川さん長田さん谷山さんがタスキを繋ぎ、結果は18位で敢闘賞をいただきました。

新しい選手を迎え来年も頑張ります！(辻)



激走！  
時津町民  
ロードレース  
11月21日

# 秋の恵みをとったど～！ いも掘り

11月13日 エリア農園



天候に恵まれ、保護者の方も参加していただいて、芋ほりをしました。昨年よりたくさんサツマイモ苗を植えていましたが、夏場の天候不順でどのようなになっているか心配でした。

でも、予想に反して大きなサツマイモをたくさん収穫できました。

みなさん、ドロドロになりながら「大きかった！」「ここにもあった！」など大きな声で叫びながら芋ほりを楽しんでいました。

中には、ねずみやモグラに食べられた芋がありましたが、モグラの掘ったトンネルをみつけては、モグラ探しもしていたようです。

いつも苦勞する芋づるを刈る作業などを保護者の方に手伝っていただいたおかげで順調に作業を進めることができ、大変助かりました。

来年もたくさん収穫できるようにみんなで農園作業を頑張っていきます。(山本)



## 講演会「成年後見の実情と問題点 その対処法」

講師：金松 敏信先生（長崎女子短期大学教授）

～ 研修部主催 ～ 2月5日 時津町公民館

今、知的障害者のみならず、認知症の方たちの間でも必要性が叫ばれ始めている「成年後見」。私達の将来の生活のために、備えておきたい知識の一つです。今回は、育成会会員はじめ、役員・民児協・特別支援学校関係者など65名が参加し、講師の成年後見人としてのお立場から、貴重なお話を聞くことができました。

制度のなりたち、概要から始まり、制度の実際や活用のすすめ、第三者後見人の実情など。また、長崎県での取り組みや、利用に際しての具体的な手続き内容、実務の問題点など多岐にわたって紹介されました。

制度の複雑な内容や法律的な知識など、すぐに理解できるような簡単な内容ではありませんが、「人が人を支えることが当たり前になる社会を目指す」には、私たち一人一人の協力と意識改革が不可欠なのだということがよくわかり、今後も勉強していきたいテーマとなりました。

後半のグループワークで参加者のみなさんからご意見・ご感想等いただきましたので、ご紹介します。

### 参加されたみなさんから

- 難しかったが、制度があることがわかった。地域で制度を必要としている人と民生委員とのつながりが必要。
- 個人情報の問題があるが、親と民生委員とのつながり、話し合いが必要。今日のような会は良かった。
- ひとりの人間を助ける気持ちを共有したい。小さいグループの話し合いが大切。
- 育成会を中心に施設、グループホーム、後見人制度と横のつながりができないか。
- 身内が認知症になったため参加した。初めて聞いて難しい。これから勉強したい。
- 現在はまだ後見人の認知度が低く親や関係者もあまり理解できていない人が多いと思う。そのためにも、身近にある障害者施設などに専門の相談員が必要ではないか。
- 親なき後、兄弟が面倒を見てくれればと思う気持ちもあるが、兄弟にも自分の人生があるので、後見人については真剣に考えたい。
- 講演はすごく勉強になりました。後見人になっての問題点、トラブル等の話が中心だったが、逆に後見人になってよかったと思ったことがあると思うのでそういう話をお聞きできれば一般の方も後見人に興味を持つ方がいるのではないかと思います。
- 「財産がない人の場合は後見人の報酬はないが、社会的使命で後見をする」と言われた講師の先生の言葉に感動しました。ありがとうございました。

その他、多くのご意見・ご感想をお寄せいただきました。質問も金松先生が後日回答され、配布しております。

講師の金松先生はじめ、ご参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。(杉)

